

あばしり 子ども読書プランⅡ



自然あふれる豊かな環境のなかで

みんなで・楽しく・どこでも 読書

網走市教育委員会

はじめに

読書は、子どもたちにとって表現力や創造性を広げ、言葉・文字を覚えるなど多くのことを学びながら、未知の世界や経験したことのない世界を知る計りしれない価値をもっています。

しかし、近年はテレビ、インターネット、携帯電話などの様々な情報メディアの普及によりコミュニケーション不足や家庭での読書習慣の希薄さなどから、読書への興味・関心が薄らぎ、「活字離れ」や「読書離れ」が進み憂慮されています。

平成13年12月に子どもの読書活動を推進し、子どもの健やかな成長に資するための「子ども読書活動の推進に関する法律」が施行されました。

本市におきましては、平成17年に「網走市子どもの読書活動推進計画(あばしり子ども読書プラン)」を策定し、その推進に努めてまいりました。

この間、小学校においては市内全校での学校巡回図書(クリオネ文庫)が実施され、児童館分庫の拡充、図書館における蔵書検索システムの導入、学校図書館の蔵書整備など、プランの基本方針の「どこでも・たのしく・みんなで読書」に基づく、こどもの読書環境の整備や読書活動の着実な推進が図られました。

これらの事業を踏まえ、今後5年間における子どもの読書活動のさらなる推進を目指し「あばしり子ども読書プランⅡ(平成22年度～平成26年度)」を策定いたしました。

このプランでは、第1次プランの理念を継承し、現在行われている活動や事業をさらに展開させ、電子書籍などの新たな思考も加えながら、子どもの読書活動の一層の推進とよりよい読書環境の整備を進めることとしております。

子どもの読書は、保護者や子どもと関わる多くの方々の理解がなければ成果を上げることができません。

大人である私たち一人ひとりが、まず子どもの読書の価値を認識し、家庭・地域・学校・行政などがそれぞれの役割の中で、どこでも・楽しく・みんなで読書ができるよう連携を図りながら、子どもの読書活動の推進に取り組んでいく必要があります。

おわりに、本計画が市民の皆様にも活用され子どもの読書活動に生かされますことを期待するとともに、策定にあたり、ご意見やアンケートへのご協力をいただきました皆様に心からお礼を申し上げはじめの言葉といたします。

平成22年 7月

網走市教育委員会

教育長 木目澤 一三

目 次

第1章 計画の策定にあたって

- | | | |
|-------------|-------|---|
| 1. 計画策定の背景 | | 1 |
| 2. 計画の基本方針 | | 1 |
| 3. 計画の対象 | | 2 |
| 4. 計画期間及び評価 | | 2 |

第2章 子どもの読書活動の現状

- | | | |
|----------------------------|-------|---|
| 1. 読書活動・読書環境等に係るアンケート調査の実施 | | 3 |
| 2. 小・中・高校生の読書 | | |
| 3. 乳幼児（就学前の子ども）の読書 | | 7 |

第3章 第1次子ども読書プラン推進の評価

第4章 子どもの読書活動推進のための方策

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 「みんなで読書」 | | 13 |
| ・現状と課題 | ・重点的に実施を行う施策 | ・具体的な主な取組み内容 |
| 2. 「楽しく読書」 | | 16 |
| ・現状と課題 | ・重点的に実施を行う施策 | ・具体的な主な取組み内容 |
| 3. 「どこでも読書」 | | 18 |
| ・現状と課題 | ・重点的に実施を行う施策 | ・具体的な主な取組み内容 |

参 考 資 料 20

お わ り に 34